

岡崎女子大・短大と 保育分野で協定をむすびました

平成30年4月より県内で初めて保育の分野での実践教育に力を入れたライフコーディネート科が開設されるため、それに先だって岡崎市の岡崎女子大・短大と3月27日連携協定を結びました。

岡崎女子大・短大とは昨年度「あいち STEM 教育力強化事業」において保育に関する専門的な技術指導や専門的な知識を本校生徒・教員に教授いただいた経緯もあり、協定への運びとなりました。

具体的には保育関係の実技指導、ピアノ指導、講義等を大学の教員に指導していただいたり、大学の活動に参加させていただくなどの活動を行います。

保育の分野で協定 松平高と岡崎女子大・短大



教育連携の協定を結んだ松平高の加藤校長と岡崎女子大・短大の林学長＝岡崎市の岡崎女子大で

松平高校（豊田市）は四月に県内で初めて保育の分野で実践教育に力を入れる「ライフコーディネート科」が開設されるのを前に、岡崎市の岡崎女子大・短大と二十七日、連携協定を結んだ。同科の定員は四十人

で、二年生でコースを選択する。保育士や幼稚園教諭などを目指す「ヒューマンサポートコース」が置かれ、一年次の必修科目にピアノ実習も設定。岡崎女子大の子ども教育学部には、保育士などを養成する専門のコースがあることから協力を得る。協定では大学の教員が高校に向いて保育関係の授業で指導したり、生徒が大学施設を使うことで学んだりすることを想定している。岡崎女子大であった藤敏実校長と岡崎女子大の林陽子学長が協定書に署名した。加藤校長は「高校生の時期から保育の理解を深められ、専門的な大学教育の助言をもらえる」と期待。林学長は「高校生や高校教員と意見を交わし、効果的な教育につなげたい」と話した。（朝国聡吾）